



最近すっかり日本中に定着したイクメンという言葉。パパ・ママ育児休業プラス※1もスタートし、法的には男性の育児休暇も取りやすくなったはずですが、残念なことに実際に育児休暇を取得する父親は2%前後にとどまっています。※2子どもとじっくり向き合うためには時間が必要。だからこそ育児を義務ではなく権利として楽しむ、オトコの育児に役立つ情報を少しだけ紹介します。

とりあえずはイクメン関連サイトをのぞいてみよう

実際のところ、世の父親たちはどんな風に子育てに参加しているのでしょうか。まずは今どきのオトコの子育て事情をリサーチしてみましょう。例えば厚生労働省が「育てる男が、家族を変える。社会が動く。」というキャッチコピーで立ち上げたイクメンプロジェクトページ。父親の子育てに関する情報や、子育てをサポートする制度に関する情報が満載です。全国の父子手帳を集めたコーナーや、ちょっと笑える父親のための育休届けがダウンロードできたりもします。

厚生労働省 イクメンプロジェクト 
<http://www.ikumen-project.jp>

川崎市男女共同参画センターイクメン研究所
イクメンとは、地域で「イキ」活きと活躍する男性(メンズ)のこと。
www.scrum21.or.jp/life/ikumen

横浜市 ヨコハマダディ
横浜市子ども青少年局企画調整課が発行するパパブックは、パパだけでなくママにとっても目からウロコな考え方を学べます。ヨコハマダディのサイトからもダウンロードできます。<http://hamadaddy.city.yokohama.lg.jp>



こんな書類で怒られない? いえいえ、きつと大丈夫。だって天下の厚生労働省製だから。



※1 改正育児・介護休業法(H21)により、父母がともに育児休業を取得する場合、1歳2か月(現行1歳)までの間に、1年間育児休業を取得することが可能(パパ・ママ育児休業プラス)となった。

※2 「平成26年度雇用均等基本調査」の結果概要 - 厚生労働省

♪その他の参考図書&HP

安藤 哲也(2012)「パパ1年生」かんき出版

父子手帳作成検討委員会編(2016)「石巻市父子手帳～子育てを始めようじゃないか～」石巻市健康部健康推進課

OFFICE OF HEAD START <http://www.acf.hhs.gov/ohs>

Fatherhood Institute <http://www.fatherhoodinstitute.org>

家庭円満の秘訣はママの話をじっくり聞くことから

パパは男、ママは女。体のつくりが違えば、考え方も行動パターンも違うのがあたりまえ。妊娠から子育て期間の女性の心はとて傷つきやすく、ちょっとしたことで感情が高まってしまったりします。男性の脳は解決脳と言われ、妻の話についてアドバイスを出してしまいがち。でも、共感脳の女性はそれを自分が否定されたと受け取ってしまうことも。実はただ話を聞いてもらうだけで十分落ち着いたはずなのに。また、パパの何気ない「大丈夫?」や「ありがとう」の言葉は、ママを元気にするスパイスでもあります。

パパ目線の絵本で子どもの心をつかもう

パパ目線の絵本を買ってみる

パパとママで考え方が違うなら、選ぶ絵本の好みも違うはず。でも、子どもの絵本を選ぶのがママだけになっていませんか? 一般に母親は優しい話しや心温まる話し、子どもの教育によさそうな話しを選び、父親は自分が読んで楽しい話しを選ぶ傾向にあるようです。子どもの成長にはどっちもだいじ。だから時にはパパ自身が子どもに読んであげたいと思う本を買ってみましょう。

絵本を買ったら自分で読み聞かせてみる

洋の東西を問わず、子どもへの読み聞かせの回数は、父親より母親の方が圧倒的に多いようです。ですが父親が子どもに読み聞かせを行った場合と、ほとんど行わなかった場合(または父親が積極的に子育てに参加した場合とそうでない場合)では、その後の子どもの発達や人格形成に違いが認められるという報告があります。なかなか読んであげられないからこそ、子どもにとって父親の読み聞かせは特別で楽しい時間となるのです。たどたどしくてもかまいません。たまには子どもを膝の上にのせて、絵本を読み聞かせてあげましょう。



小さな子どもが大好きなウンチやオシッコの話は、ママにとって意外と苦手分野だったりします。

子どもと一緒にあそびに行こう!

おいでよ! たまっこ!

父子で楽しいプログラムいっぱいの日!

ばちばちマン体操・忍者ジャンケン・親子ふれあい忍術・手作り遊具の展示と体験コーナー・イクメンプロジェクトの活動がわかる展示・パパ向けバギーエクササイズ・男性インストラクターによるパパ向けヨガ、おんぶエアロなど。
★パパの育児に役立つ「イクメン忍者の心得」プレゼント。

【主催】イクメンプロジェクト(多摩区公立保育園+多摩区役所)
【共催】生田緑地運営共同事業体 【協力】宮井典子・ナカシマトオル
【問い合わせ先】044-933-2063(生田緑地整備事務所 担当:ぬかや)

詳細は随時公式ホームページで公開します。

11月5日(土) 11:00~14:00

生田緑地中央広場
東口ビジターセンターなど